

知床の歴史

ねぶた祭り！

個性豊かな
住民！

豊かな自然の恵みに
活かされた3つの産業！

初参加も
大歓迎！

みんなで持ち寄る

シレトコのコト

「知床らしさ」を共有し、まとめる ワークショップ 第2弾！

知床は良いところというのはみんなの共通認識。では「何が魅力なの？」と言われると、みんなの視点やオススメはさまざまです。環境省では、「知床の良さ」「知床らしさ」を地域に住まうみなさんと整理し、共通のメッセージとして来訪者に伝えるための計画づくりを進めています。第1回のワークショップでは、「知床の魅力はなんだろう」というテーマで参加者からたくさん意見をだしてもらいました。第2回では、出てきた「魅力」の背景を深掘りし、なぜ魅力に感じるのか、なぜ知床らしさにつながっているのかをみなさんで考えたいと思います！

絵に描きたくなる
ような風景

動植物の
種類の多さ

やっぱり流水！

圧倒的な自然

🦅 しゃり会場

2024/12/18 13:30~
[Wed]

ゆめホール知床 会議室 1
(斜里町本町 4 番地)

🐻 ウトロ会場

2024/12/17 18:30~
[Tue]

知床世界遺産センター
(斜里町ウトロ西 186-10)

🦅 らうす会場

2024/12/20 18:30~
[Fri]

羅臼町民体育館 らうすぽ
(羅臼町栄町 130-1)

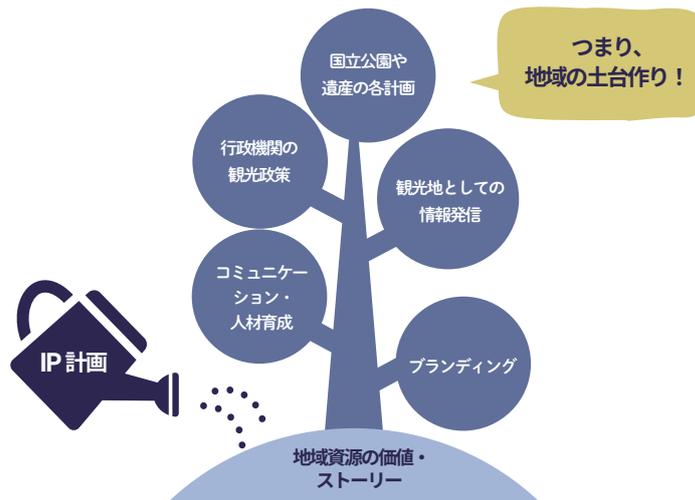
対象者

観光に直接関わる方はもちろん、知床にくらし、その魅力を知るみなさんの参加をお待ちしています。初参加も大歓迎です！
どこの会場もワークショップの内容は同じです。参加しやすい会場にお越しください。

シレトコのコトって？

2024年は知床国立公園指定60周年であり、2025年には世界自然遺産登録20周年を迎えます。これからの国立公園のあり方や、観光利用のあり方についての議論や計画づくりも進められていますが、そのうえで重要なのは地域の魅力(=知床らしさ)や価値(=大切にしたい事)を整理し、地域共通のメッセージ(=ストーリー)としてまとめることです。

まとめられた内容は、来訪者とのコミュニケーションや人材育成、観光コンテンツ造成、行政政策など地域のみなさんに活用されることが期待されます。環境省ではこうした取り組みを「インタープリテーション全体計画(IP全体計画)」と呼び、全国の国立公園で策定を進めています。



のぞいてみよう

第1回ワークショップのようす

斜里・ウトロ・羅臼の3会場で行われ、ワークショップの中身については同じ内容を行いました。

ワークショップのながれ

STEP 1

ワークショップの説明
ファシリテーターの紹介

STEP 2

ワークシートに
知床の魅力を書き出してみよう！

STEP 3

どんなことを書いたのか
みんなへ発表してみよう！



参加者からは「知床半島にあるアイヌ語地名が魅力的！」や「斜里町は日本一のサケの町、漁師の仕事の様子をこんなに間近で見学ができ、水揚げの様子を上から見られる場所はなかなかないよね」、「知床に住む人は多種多様！ここで暮らす人こそが一番の魅力！」「ありのままの野生動物が身近にいるのが魅力的」「羅臼の海は季節によって水温が20度くらい変化する。それによって9月はオオカミウオ、10月はサケ、11月はホッケ、12月はカジカなどと多様な海の生き物が生息している」など様々な意見があげられました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。第2回も皆様のご参加、お待ちしております！

参加
申込

事前申込制（参加無料）

事前に右のQRコードまたは下記の電話番号より
お申し込みください

応募締め切りは
開催日の5日前！



お申し込み QR コード

お問い
合わせ

主催：環境省釧路自然環境事務所

運営（事業受託業者）：公益財団法人 知床財団 担当：やまもと・あきば

☎0152-24-2114